

今週のモーニングセミナー報告

令和3年10月27日（水）の講話 <第870回>

テーマ：今はゆっくり

講師：香川県高松三木倫理法人会 幹事 (株)UMOGA 取締役会長 蒲生幸代 様

自然体で素直に生きてきた蒲生さんの歩みが力みなく伝わって参りました。

「倫理」も「中小企業家同友会」も蒲生さんの向上心と素直さ故に消化、吸収され、身に付けて来られたのだと受け止めました。

ご主人に先立たれ、代表者にならねばならない境遇に置かれても素直に学ぶ気持ちと向上心に加えて、人を受け入れ好きになれば、人生は立派に生きて行ける、そんなご講話でした。

担当者：中川 武雄

昨日は事前に会場場所を確認しに来ました。子供三人と六人の孫、成長が楽しみです。三月の股関節の手術をしてリハビリ中、カーブスで30分。筋肉運動をしている。フラダンスを踊りたい・楽しみにしています。秋津書道もしています。会社は主人がスクリーン製版テクニカを創業。ご主人が5年間の入院中は欠かさず看護のため通院。主人は入院中も会社が気になって仕方なかったのだらうと思います。息子が高校2年の時亡くなりました。代表を引き継ぎ初めての対応ぶりを説明。倫理への入会は「職場の教養」でした。私の言いたいことが書いてあるという動機。今は息子が後継者倫理塾に入り、同友会の経営理念の勉強もして、社長の決意発表がありました。その理念の説明。幾多の苦難を乗り越えてきた経験を最後まで、素朴に話してくれた語り口は好感でした。

担当者：赤山 芳隆

主人が亡くなり社長を引き継いだ話をされ、ご主人さんは5年間入退院を繰り返し、入院中も日々の売り上げが気になる熱意ある経営者だったのだと思いました。蒲生幸代さんが「主人が入院していても生きていてほしかった」と話されたことが印象に残りました。今は社長を蒲生幸実さんへ任せて口出しをしないようにしているとのこと。倫理塾での活動が成長させてくれたと感じている。「主人が生きていれば違ったかもしれません」と話された言葉も印象に残りました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは11月10日（水）朝6：00～7：00 南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「いつでもどこでも勉強」と題しまして（一社）倫理研究所 法人レクチャー 広島県倫理法人会 幹事長 山縣俊二様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 16 社 16 名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000 / FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp